

2

February
2014
No.179

なごはな



JA Magazine Nanohana

柳田



第8回JA-YOUTHソフトボール大会
優勝した柳田ソフトボール少年団チーム
(指宿市開聞総合グラウンドで)

JAいぶすぎ

編集発行: いぶすぎ農業協同組合
〒891-0516 鹿児島県指宿市山川1-3-330
TEL: 0993-35-3411
<http://www.ks-jao.or.jp/ibu/index.html>

第33回

いぶすき菜の花マラソン大会



満開の菜の花が咲くコースを力走するランナー

第33回いぶすき菜の花マラソン大会（同実行委員会主催）が1月12日、指宿市で開催され、1万8316人のランナーが出場しました。気温12度、晴天という恵まれた条件のもと、ランナーは池田湖や開聞岳などを望む、菜の花で満開のコースを思い思いのペースで力走し、ゴール地点である指宿市営陸上競技場を目指しました。

大会には地元住民も多数ボランティアとして参加、JAも各地区の生産者や職員などが中心となり、コース沿いで地元の特産品である、そらまめ・実えんどうのスープ、油で揚げた芋などを振舞い、ランナーを激励しました。



開聞地区 開聞中央支所付近



指宿地区 国立病院前交差点付近



山川地区 旧浜児ヶ水支所付近

JA-YOUTH旗争奪ソフトボール大会



J A 青年部は1月28日、指宿市開聞総合グラウンドで管内の小
 学生スポーツ少年団を対象としたソフトボール大会を開催し、15
 チームが参加しました。
 当日は晴天に恵まれ、児童は日頃の練習の成果を発揮しようと
 全力でプレーしました。
 会場内では青年部・女性部・J A職員なども地元の農産物販売
 や手作り豚汁を振る舞い、大会を盛り上げました。熱戦の結
 果、指宿地区の柳田ソフトボール少年団チームが優勝しました。
 (表紙写真)

主な大会結果は次の通りです。

- 優勝 柳田ソフトボール少年団チーム (指宿地区)
- 準優勝 大成ソフトボール少年団チーム (山川地区)
- 3位 丹波ソフトボール少年団チーム (指宿地区)
- 青戸ソフトボール少年団チーム (頰娃地区)



準優勝の大成ソフトボール少年団チーム

岡山湯郷Be11e 激励式

指宿市山川出身の福元美穂選手などが所属する日本女子サッカー、なでしこリーグの岡山湯郷Be11eが、1月21日から25日まで指宿市でキャンプを行いました。鹿児島県、指宿市、JAいぶすきなどはキャンプ初日に激励式を開催し、JAはソラマメ6kgとえい茶、他団体はかごしま黒豚10kg、フルーツ盛合せ、鯉節5kgの特産品を贈呈、チームを激励しました。岡山湯郷Be11eの種田佳織監督は「すばらしい環境の中でキャンプを行うことができ、本当に感謝している。精一杯サッカーに専念したい。」と感謝の言葉を述べました。



中野真奈美選手（左）へ
松元常務（右）から激励品の贈呈



地元特産品を贈呈し、選手を激励

豊作を願い、葉タバコの種をまく

管内の各地区

（指宿市山川・

開聞地区、南九

州市穎娃地区の

3ヶ所）で1月

10日、2014

年作葉タバコの

播種式が行われ

ました。指宿市

の山川葉たばこ

共同苗床では生

産者、行政、J

A関係者ら約20

人が出席。豊作

と関係者の健康

を祈願し、種を

まきました。同

地区の生産者、

福里宏美さん

（79）は「昨年は皆様のご協力のおかげで県下最高の成績だった。今年も最高の年である様に、心を込めて種をまきましよう。」

と決意を語りました。管内では指宿市、南九州市穎娃町で生産

者29名、約63・5ヘクタールの作付面積を計画しています。育

苗施設にまかれた種は成長した段階で、子床と呼ばれる苗床に

仮に移植され、約1か月成長させた後、畑に移植され、収穫時

期は5月～7月を予定しています。



豊作を願い葉タバコの種をまく生産者ら

観葉センター出発式

J A 観葉植物部会は1月4日、指宿市のJ A 観葉センターで2014年初荷出発式を開催し、同部会員、行政、運送会社、J A 役員など約50名が出席しました。出発式の前に祈願祭を行い、玉串を神前に捧げ、今年1年の同部会の発展と安全を祈願、テープカット後に参列者の拍手で初荷のトラック3台を見送りました。下温湯正弘観葉植物部会長は「観葉を取り巻く情勢は依然として厳しいが、本年も皆様と力を合わせ、指宿の観葉を盛り上げて行きたい。」と抱負を語りました。初荷の出荷数は大鉢・小鉢合わせて、関東・中部・関西方面などに約2000鉢。同部会では2月に県内外から各市場関係者を招き、春の観葉フェアを開催します。



テープカットを行う出席者

山川すいか専門部会表彰

鹿児島市中央卸売市場青果市場は1月5日、鹿児島市東開町の同市場で年始会を開催し、行政、生産者、青果会社、J A 関係者など約90人が出席しました。青果物優良出荷者の表彰式も行い、果実部門でJ A いぶすき西瓜専門部会が表彰され、宮田実吉部会長に感謝状を授与、他に野菜2団体、果実1団体を表彰しました。宮田部会長は「部会が評価され、表彰を受けた。年明け早々縁起が良い。今年も昨年以上においしい西瓜作りに励み消費者の皆様へ食べて頂きたい。」と意欲を語りました。山川地区の「徳光すいか」は、高齢化の影響もあり、生産者、面積が減少傾向で、現在は部会員12名、面積約6haとなっています。販売は鹿児島県内で、鹿児島市中央卸売市場に出荷を行っています。ハウス栽培用の種まきは年末より始まっております。1月下旬には植え付けが始まります。



青果物優良出荷者として表彰される宮田J A 山川西瓜専門部会長

県立山川高等学校「営農の門出を励ます会」

県立山川高等学校は2月3日、同校を本年度卒業し、農業関連に就職・進学する生徒8名の門出を祝う「営農の門出を励ます会」を開催しました。生徒・保護者・行政・JA・学校関係者など約70名が出席し、門出を祝いました。卒業予定の生徒それぞれが決意を表明し、鹿児島県立農業大学農学部野菜科に進学する樋高杏奈さんは「農業をもつ



豊留指宿市長から生徒へ記念樹をプレゼント

と深く学び、技術指導員となり農家を助け、地元に貢献したい。」と力強く決意を語りました。豊留悦男指宿市長は「山川高等学校の生徒が一人でも多く指宿の豊かな農業・観光関連の仕事に就職して欲しい。全力で応援する。」と激励しました。



農業関連へ就職・進学する生徒たち

指宿地区女性部「家の光」活用教室



参加した指宿地区女性部の皆様

JA指宿地区女性部は1月30日、指宿市のJA生活センターで総合家庭雑誌「家の光」の記事を活用した教室を開催し、地区女性部員・職員が参加しました。今回で今年度最後の教室となり、全員でワンプレートランチをつくり、試食会を行いました。参加した部員は「とても楽しく参加させて貰っている。来年度も女性部活動を活発にしていきたい。」と笑顔で話しました。

Jリーグチームを応援 柏レイソル激励式

1月28日、指宿市でキャンプを行っているサッカーJリーグチーム、柏レイソルへ鹿児島県、指宿市、JAいぶすきなどが合同で激励式を開催しました。

JAはソラマメ6キロとえい茶、他の団体はかごしま黒豚40キロ、カンパチなどを贈呈しました。渡瀬貴久指宿副市長は「本当に嬉しい。今年のJAリーグ優勝を楽しみにしています。」と激励し、栗澤遼一選手は「沢山の応援を頂き感謝している。充実したキャンプを送りたい。」と話しました。



JAからチームにソラマメとえい茶を贈呈

LA訪問実践研修会

J Aは1月22日、指宿総合支所でLA（ライフアドバイザー）訪問実践研修会を開催しました。

（株）UBFファイナンシャルプランナーの上田浩氏を講師として招き「あんしんチェック推進へつながるスキル」と題した研修会を行いました。

上田講師は研修の中で、コミュニケーション方法やアプローチのポイントなどについて説明し、午後からは実際に上田講師とLAで介護共済の訪問活動も行いました。



訪問活動の様子

青色申告研修会開催



青色申告に向けて開催した研修会

J A青色申告会指宿支部は1月29日、平成25年度の青色申告に向けた研修会を指宿総合支所で開催しました。派遣税理士の上坪孝志税理士を招き、税制改正等の内容説明を踏まえ、所得税確定申告に向けた資料の準備等に関して説明を受けました。

中川守会長は「残り1ヶ月程度ですが、適正な申告書の作成に向けて、取り組みましょう。」と参加者に呼び掛けました。

観葉植物部会が通常総会を開催



結束を高めた通常総会

J A観葉植物部会は1月29日、指宿市内のホテルで第32回通常総会を開催し、部会員・来賓・J A役職員など約40名が参加しました。議事では「平成25年度事業報告及び収支決算承認について」など3つの議案を上程し、全て承認されました。下温湯正弘部会長は「大きく変化する時代の中で、その変化を捉えることが重要。創意工夫をし、部会全体で厳しい情勢に負けないように取り組みましょう。」と挨拶しました。

オクラ播種に向けて地区座談会開催

管内の指宿地区では、豆類の栽培管理とオクラの作付けに向けた地区座談会を1月21～24日の4日間、集落毎に15ヶ所で開催しました。座談会では、農薬の使用方法や効果的な防除方法、オクラの播種については適正な消毒、地温確保の重要性等についてJ Aが説明し、生産者と確認を行いました。今年のハウスオクラの播種ピークは2月中～下旬の見込みです。



地区座談会の様子

山川野菜集荷施設の地鎮祭

J Aは1月9日、指宿市山川に建設予定の山川野菜集出荷貯蔵施設の地鎮祭を行いました。建設会社・J A関係者など約30人が出席し、祝詞奏上・鍬入れ・玉串奉納などの神事を行い、工事の無事を祈願しました。同施設は山川地区のソラマメを対象に導入し、予冷施設床面積121平方メートルで2014年3月末に完成予定です。西村仁代表理事組合長は「ソラマメは主要品目であり、組合員の期待を背負っている。事故の無い様に工事を進めて欲しい。」と話しました。



玉串を奉納し、安全を祈願する西村組合長

デコポン出荷要領説明会



出荷規格基準の再確認を行う生産者ら

指宿市開聞地区で、不知火（しらぬい）の出荷が1月下旬より始まりました。不知火はデコポン（商標登録）の愛称で親しまれており、糖度が高く人気があります。J Aでは1月10日、開聞集荷場で出荷要領説明会を開き、生産者とJ A営農担当者が出荷規格基準の再確認を行いました。J Aいぶすき開聞果樹部会中晩柑専門部会は、かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）で認証を受けており、今年度は生産者3人、面積75アール、数量10トン、金額300万円を計画、主に関西方面へ出荷しています。

2014年子牛初せり開催



田中会長による献杯

J Aは1月20日、指宿市開聞の指宿中央家畜市場で2014年の子牛初せり市を開催しました。せりの開催前に、今年肉用牛事業の繁栄を祈念し、田中健一肉用牛部会協議会長により献杯を行いました。松元孝也J A常務は「今年最初のせり市を皆様のおかげで盛大に開催することが出来た。今年も皆様とともに頑張っていきたい。」と挨拶しました。

初せりには、238頭が出場し、平均単価は51万7041円（税込）でした。

えいニンジン出荷ピーク迎える

南九州市穎娃町で、ニンジン（人参）の出荷が最盛期を迎えました。管内のえい地区では、生産者115名、65ヘクタールを栽培しており、2013年度産を共販数量2600トン、共販金額2億9000万円と見込んでいます。本年度産について、同地区担当の有村俊哉営農指導員は「播種時期の干ばつの影響により、播種後のかん水に苦慮したが、天候に恵まれ生育は順調。」と話しました。出荷は大阪・名古屋を中心に1月上旬から3月末までを見込んでいます。



最盛期を迎えたニンジン

かごしま茶新春初取引会開催



品質を入念に調べる参加者

JA かごしま茶流通センター（鹿児島市南栄）は1月7日、かごしま茶新春初取引会を開催しました。10市町村から237点、36.6キロが上場され、指定業者が色・香り・味などを入念に調べ、入札しました。1キロ価格は高値2911円、安値291円で平均641円（前年比248円安）でした。入札の途中では、今年の茶業界の取引活況を祈念し、手打ち式も行いました。

「学校給食記念日」生産者が児童と交流給食

JAは管内の指宿市2つの小学校で、農家と児童の交流給食を実施しました。1月21日は山川地区の徳光小学校で山川人参部会長の浜田憲治さん（63）が、3年生の児童7名に地元で生産している人参、さつまいもなどについて授業を行い、一緒に給食時間を過ごしました。メニューには茹でたスナップえんどうや人参の入った肉団子のスープが並び、児童は「地元の野菜について学び、生産者とおいしい給食を食べることができて良かった。」と喜んでいました。



浜田さんと一緒に給食を食べる児童

P

JADDO
カード会員の
皆様へ!

4月末までに組合員会員になると抽選で**333名様へ**

3,000ポイントプレゼント!

※当選者の方には5月頃にハガキ等でご案内いたします。

JA組合員になると、よりお得!!

H26年
2月1日より
新たに!

Aコープ

おいどん市場

のご利用で

通常のお買い物ポイント【200円(税抜)につき1ポイント】に加えて

1,000円(税抜)につき1ポイントがさらに加算!

組合員会員になるには…?

組合員情報をJADDOカードに登録しましょう!

【留意事項】組合員登録がお済みでない場合、上記プレゼントキャンペーンの対象になりません。

JADDOカードへの組合員登録や入会ご希望の方はお近くのJA窓口またはAコープ等にお越しください。

ホームページ

<http://www.jaddo.jp>

JAグループ鹿児島

JADDOカードについては

☎ 0120-250-380

Aコープについては

☎ 0120-011-884

1月は各市町村で成人式が開かれ、JAいぶすき本所でも1月14日、20歳を迎える5人の職員を祝いました。朝礼で西村仁組合長がお祝いを贈呈、それぞれが本所職員の前で成人を迎える決意を語りました。西村組合長は「20歳を迎え、社会的にも責任が重くなるが、一人の大人として自覚し、しっかりとJAいぶすきのために頑張ってください。」と激励しました。

①所属先 ②抱負



(名前) 關 雅彌 (せき まさや)

- ① 農業機械課・えい担当
- ② JAいぶすきに入組してから2年が経ちました。自分の行動全てに責任を持ち、業務の修得に努め、組合員・地域の皆様に貢献出来る、農協職員になれるように頑張ります。



(名前) 内村 健太 (うちむら けんた)

- ① 指宿総合支所・購買課
- ② 農協に入組して様々なことを学びました。組合員の方々に少しでも役立てるように一生懸命頑張ります。



(名前) 甲斐 さやか (かい さやか)

- ① 喜入支所 金融・窓口共済担当
- ② 十八歳で入組して二年間というのはあっという間でした。まだまだ未熟ではありますが、一つ一つの仕事に責任を持ち、毎日笑顔で元気に仕事に励んでいきたいと思っています。



(名前) 生見 さやか (ぬくみ さやか)

- ① 開聞中央支所 金融・共済窓口担当
- ② 入組して2年が経ち、周りの方々に助けられながら成長することができました。まだまだ勉強不足ですので資格取得に励みながら、毎日明るく笑顔で頑張りたいと思います。



(名前) 塩崎 歩 (しおざき あゆみ)

- ① 南部支所 金融・共済窓口担当
- ② 周りの人に助けられ、支えられて成人の日を迎えることができました。皆様への感謝の気持ちを忘れず、自分の仕事に責任と自覚を持ち、少しでも多くのお客様に「また来たい。」と思っていただけるような接客を心がけていきます。

おくやみ(敬称略)

(平成25年12月1日)

平成25年12月31日

【書入】

樋高シツエ (94)

生見静子 (83)

岡元則雄 (89)

久保園藤嘉 (82)

牧菌フヂエ (96)

鈴東ユキ (96)

高田ミヨ子 (94)

上玉利博司 (60)

安元モモヨ (99)

木下盛男 (66)

東山馨 (87)

岡村徳 (75)

松村利祐 (83)

前田スミエ (75)

桑田シゲ子 (85)

東畑サヨ (89)

中村ハルエ (85)

桑村正男 (84)

東村政義 (82)

前田カメマツ (96)

演田ハツ子 (91)

今村美千代 (74)

村山定治 (91)

上野テルミ (95)

山西村サチエ (86)

山村シナエ (84)

倉山タミ子 (62)

つっしんでご冥福をお祈りいたします。

理事会だより

平成26年1月30日、第13回理事会が開催され、次の通り協議、承認されました。

【協議内容】

- 第8次中期3か年計画について
- 平成26年度役員報酬審議会への諮問について
- えい総合支所人參選果機更新(案)について
- 資産査定における資産勘定(貸付金を除く)の査定結果について
- 平成25年度末自己資本比率見込みについて
- 鹿児島県農業信用基金協会への出資について
- 鹿児島県信連への借入金申込について

【報告事項】

- ・平成25年度12月末実績について
- ・平成25年度全国監査機構監査(期中監査Ⅲ)の実施について
- ・平成25年度第3・四半期内部監査報告について
- ・自主検査実施状況について
- ・不祥事未然防止対策取組状況報告(第3・四半期)について
- ・支所・事業所への巡回指導の強化(2月分)について
- ・出資金増口運動の中間報告について
- ・平成26年度県下統一「給与振込キャンペーン2014」実施要領について
- ・平成25年度ウィンターキャンペーンの実績について
- ・特別オンサイトモニタリング実施結果について(12月分)について
- ・購買未収金の報告について
- ・平成25年度ふれあいスーツ展示会日程変更について
- ・常例検査の検査結果について
- ・コンプライアンスにかかる報告事項について

お母さんにも、子どもにもいいこといっぱい!

日本型食生活のすすめ

Q. 夫の“ポッコリ”おなかを、何とかしたい! どうすればいいの?

A. 日本型食生活の実践で、脂肪と糖分のとり方をコントロールできますよ!

全身、とくにおなかにつく“ぶよぶよ”の正体は中性脂肪です。これは、おもに体内に入った脂肪や糖分からできています。つまり、“ポッコリ”おなかの解消には、脂肪と糖分を取りすぎないことが大切です。

まず、脂肪は食材や部位、調理法によって、ある程度コントロール可能です。たとえば、魚の脂肪は、人間の体内で溶けて排泄されやすいため、中性脂肪になりにくい特徴があります。また、肉は食べる部位や調理法によって、脂肪の摂取量が変わります。たとえば鶏肉でいえば、皮→もも肉(皮付き)→もも肉(皮なし)→ささみ、の順で、調理法でいえば、揚げる→炒める→煮る→蒸す→ゆでる、の順で脂肪

の量は減っていきます。

一方、糖分は腸で吸収され、全身に運ばれてエネルギー源となりますが、運動不足などで使われなかった分は蓄積され、中性脂肪のもとになります。だからといって、ごはんなどの主食を過剰に制限するのは、よくありません。むしろ気をつけたいのは、体に吸収されやすい砂糖の取りすぎです。顕著なのは、菓子やジュースなどの間食でしょう。

これらを守るべく控えるためにも、低カロリーで腹持ちがよく、脂肪分も少ないごはんを中心とした日本食メニューを作れば、糖分や脂肪を手軽に抑えることができます。

今日の「よい食」キーワード

【ポッコリお腹の正体、中性脂肪】

中性脂肪は、人や動物にとって重要なエネルギー源で、発育に必要なビタミンや体内で合成されない必須脂肪酸の摂取にも不可欠です。しかし、とりすぎると体脂肪として蓄えられ、肥満を招き生活習慣病につながります。中性脂肪の数値は、メタボリックシンドロームの診断基準に盛り込まれています。日本人の摂取エネルギーに占める脂肪の割合(脂質エネルギー比率)は、戦後急激に上昇し、肥満も増加。国民の健康増進をめざす「健康日本21」では、20～40代成人の脂質エネルギー比率を、25%以下にする目標を掲げています。

「みんなのよい食プロジェクト」の「美味ちゃん」です!



©よい食P



「みんなのよい食プロジェクト」は、体と心を支える食のたいせつさ、国産・地元産農畜産物の豊かさ、それを生み出す農業の価値をお伝えし、国産・地元産農畜産物と日本の農業の応援団になっていただく、という運動です。

編集後記

第33回菜の花マラソン大会に参加しました。

今年で4回目の参加となりましたが、結果は6時間かけて何とか完走(完歩?)。運動不足を痛感、少しずつでも継続的に取り組むことの大切さを学びました。参加者・応援して頂いた皆様、本当にお疲れ様でした。

表紙の写真

記事にもあった様にJA青年部が1月28日、JA-YOUTH旗争奪ソフトボール大会を開催しました。

子供達は一生懸命プレイし、大会は大盛況でした。

いま、誰もが思う介護の不安に。
できるだけ、大きな安心と、
ずっと寄り添う、やさしさを。



新登場

介護共済

一生涯にわたって介護の不安にしっかり備える

ポイント1

一生涯にわたる介護保障で
不安の高まる高齢期も安心です。

ポイント2

公的介護保険制度に連動した
わかりやすい保障です。

ポイント3

共済金をまとめた一時金で
お受取りいただけます。^{※1}

〈ご契約例〉 40歳加入 共済金額500万円

① 公的介護保険制度に定める要介護2～5に認定されたとき^{※2}

または

② 所定の重度要介護状態になったとき^{※2}(JA共済独自基準)

介護共済金^{※3} **500**万円

一生涯保障

※1 「共済年金支払特約」の付加により年金方式でお受取りいただくことも可能です。 ※2 責任開始時以降に生じた疾病または傷害により公的介護保険制度に定める要介護2～5に認定されたとき、または、所定の重度要介護状態になったとき。 ※3 介護共済金をお支払いした場合にはご契約は消滅します。

●この広告は概要を説明したものです。ご契約の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。 ●ご加入にあたりましては、お近くのJA(農協)へお問い合わせください。

■ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp>

くらしの保障、相談するなら

 **JA共済**

13481050146